



## 第1回実力テストが行われました

6月7日(金)に実施した第1回校内実力テストの結果をお送りします。テストは、国語・数学・英語の3教科〔各教科とも試験時間 110 分、200 点満点 英語はリスニングを含む〕を実施しました。高校での既習事項はまだまだ少ないながらも入学後初めての範囲のないテストであったため生徒にとっては大変な一日であったと思われます。しかしながら試験監督で教卓から見た生徒は粘り強く最後までテストに取り組んでいました。受験に臨む最もベースとなる取り組む姿勢についてはよいものを持っていると感じました。

校内実力テストは、生徒の実状を最も間近で見ている本校教員が、学習内容の定着度・理解度の差がしっかりと測れるように問題を作っております。平均点は200点満点中80点で設定されています。思ったような点数が取れずに戸惑うこともあるかもしれませんが、ここは一回目の通過点で実力テストというものがこういうもので、そこで力を発揮するためには日々何をすればよいのか考えるきっかけにしたいと思います。生徒に配付している2019年度版進路の手引きP132には難関大学合格者の1～2年時実力テスト順位追跡結果を掲載しております。諦めなければどんなに高い目標でも叶う可能性があります。

実力テスト答案返却後、早速次のテストに向けて自ら一步を踏み出す生徒が見られるようになりました。実力テストの答案を持ってきて今後の勉強のアドバイスを求めるものや、日常の授業の予習や復習の方法を聞きに来るものなど、課題解決に向けて主体的に取り組もうとする姿勢が見られ頼もしいです。質問に来る生徒に共通して伝えていることは「いま目の前の勉強を本気で取り組むこと」です。特に高校の勉強についていけず中学校の勉強からやり直すべきか聞かれることがありますが、実際には目の前の勉強+さかのぼっての復習をしていくことはなかなか大変なことです。また「中学校の内容」と「高校の内容」と切り離して考えることが難しい教科もありますが、この時期の高校の学習内容は中学校の内容と重なる部分も多いので、いすべきことをしっかりと、そこで出てきた疑問点を解決することが大切です。

## 生活実態調査の結果について

5月31日(金)から第1回実力テスト前日の6月6日(木)までの一週間、学習や生活の様子を調べる生活実態調査を行いました。学年の平均学習時間は一日平均で175.6分という結果になりました。進路指導課では目標の勉強時間を一日180分に設定しています。期間内に県総体があり部活動をしている生徒には勉強時間を作り出すことが難しかったかもしれません。ただテレビを見たりスマホを触ったりする時間が一日平均63.6分という例年よりも長めの結果が出ており、時間の使い方に改善の余地があるのではと思われます。学習時間を多くとればよいという単純なものではありませんが、質を高めるにしても最低限の量の確保は必要です。またスマホの長時間利用による日常生活の乱れ、それが原因となつての体調不良が授業への悪影響へとつながりやすい傾向がみられます。実力テストの結果からも基礎定着のための十分な学習時間が必要とされています。高校での学習習慣を固める大事な時期ですので、ご家庭でのご理解とご指導をお願いいたします。

## グローバル講演会「ラーメンで世界進出」

6月5日（水）に実施したグローバル講演会では「JAPANESE WONDER TO THE WORLD」という演題で本校卒業生である株式会社力の源ホールディングス矢野亮太氏をお招きいたしました。グローバルな視点を持つこと、様々な課題に取り組む主体的な姿勢、コミュニケーション能力の大切さを、熱意を持って伝えていただき、生徒たちは真剣に聞き入っていました。講演後の質疑応答でも次から次へと質問が出て、中には核心を突いた鋭い質問も飛び出しました。後で矢野氏に感想を伺ったところ、どうしても答えてあげたいような質問が続き、講演をして気持ちがよかったとお褒めの言葉をいただきました。終了後どうしても自分の思いを聞いてもらいたいとひとりの男子生徒が講師控室を訪れ、そこでも熱いやり取りがありました。そこで矢野氏が「思い立った時に動けた君の行動力は素晴らしい」とアドバイスをしてくれました。横で聞いていましたが、一年生のどの生徒もグローバル人材となる資質を秘めていると頼もしく思える一日でした。



## 2年後の自分を意識して～県総体を終えて～

6月上旬に多くの運動部にとって最後の大会となる県総体が行われました。数か月でしたがともに汗を流した3年生の先輩が引退をかけた大会になりました。大会の結果から上位大会へ進出することの出来た生徒も多数います。残念ながら思うような結果を残すことができなかった生徒も多数います。下の文章は結果を残すことの出来なかった生徒が書いた部活動ノートの最後の反省です。出来れば全文を見ていただきたいのですが、かなりの長文なので部分的に抜粋しています。

私は人前で泣くことが苦手で、人前で泣くことは情けないことだと思っていた。しかしこの部に入ってからびっくりするくらい泣いた。負けても勝っても辛くても嬉しくても。涙を見せられる人達に会って、熱い気持ちになったからだと思う。しかし最後の試合で負けた時に涙が出てこなかった。どれだけのことをやってきても本番のその一瞬で力を発揮することができなかった。その一瞬を意識する力が私たちには足りていなかった。

努力は報われることはなかった。それでも私は今までの時間はどれも無駄ではなかったと信じている。自分自身とも周りの人ともこんなに真剣に向き合ったことはなかった。思いを伝えて、それを聞いてくれる人がいて、大好きだといえるチームが出来た。努力は報われないかもしれないが、努力したからこそ得られたものはたくさんある。それを知った私たちはすごく強くなりたいのことは乗り越えられる。途中で投げ出さずに最後まで続けてよかった。

私は高校に入って本気で頑張れるものがほしかった。もうあんなふうにコートを駆け回るこ

とも、声を枯らせることも、早起きすることも、円陣を組むことも遠征に行くことも号令をかけることも全部なくなると思うとすごく寂しい。しんどいこともあったのに全部が名残惜しい。

こんなにも心が揺れ動く時間は今までになかった。ここで学んだものを必ずこれからの道に生かしていきます。成長を結果で出す姿で見せたいです。希望する進路が実現できるように私は私らしく最後まで泥臭く頑張ります

読んでお気づきかもしれませんが、入学式でお話しさせていただいた生徒です。努力を積み重ねるというプロセスは部活動だけに限ったことではありません。当然勉強においても求められることです。より大きな視点で見ると目の前の課題と向き合い、主体的に取り組み克服していったということが最後には自信へとつながるにではないのでしょうか。実力テストの結果を見て、部活動との両立に悩む時期かもしれませんが、勉強するのも部活動をするのも日常生活を送るのも同じひとりの人間がすることです。部活動に取り組んでいる1年生が2年後に心身共に成長してほしいと願います。

### ■今後の主な行事等■

- 7月 3日（水）～9日（火） 第2回学力テスト
- 10日（水） 振替休日（5月18日土曜公開授業分）
- 13日（土） 校外模試（国語、数学、英語）
- 19日（金） 終業式（22日から夏季補習が始まります）

### ■保護者の方に来校いただきたい日■

- 7月31日（水） 個人面談中心日（HR担任より連絡があります）
- 9月21日（土） 第2回保護者説明会…場所：おかやま西川原プラザ（西川原駅北）